

みずほCustomer Desk Report 2019/08/29 号(As of 2019/08/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.73
TKY 9:00AM	105.75	1.1090	117.29	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	106.23	1.1098	117.67	1.2282	0.6755
SYD-NY Low	105.65	1.1073	117.12	1.2290	0.6762
NY 5:00 PM	106.13	1.1077	117.53	1.2156	0.6733
				1.2212	0.6734
NY DOW	26,036.10	258.20	日本2年債	-0.3000	0.00bp
NASDAQ	7,856.88	29.94	日本10年債	-0.2800	▲1.00bp
S&P	2,887.94	18.78	米国2年債	1.4990	▲2.33bp
日経平均	20,479.42	23.34	米国5年債	1.3735	▲0.68bp
TOPIX	1,490.35	0.66	米国10年債	1.4669	▲0.67bp
シカゴ日経先物	20,515	100	独10年債	-0.7110	▲1.55bp
ロンドンFT	7,114.71	25.13	英10年債	0.4410	▲6.05bp
DAX	11,701.02	▲29.00	豪10年債	0.8810	▲3.60bp
ハンセン指数	25,615.48	▲48.59	USDJPY 1M Vol	8.14	▲0.08%
上海総合	2,893.76	▲8.44	USDJPY 3M Vol	7.86	▲0.02%
NY金	1,549.10	▲2.70	USDJPY 6M Vol	7.65	0.02%
WTI	55.78	0.85	USDJPY 1M 25RR	-1.74	Yen Call Over
CRB指数	171.20	1.50	EURJPY 3M Vol	8.28	0.05%
ドルインデックス	98.21	0.21	EURJPY 6M Vol	7.98	▲0.10%

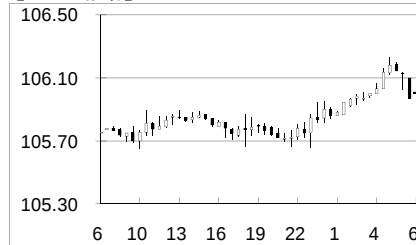
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月29日	01:20	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演「貿易中心に不透明感高まる」	

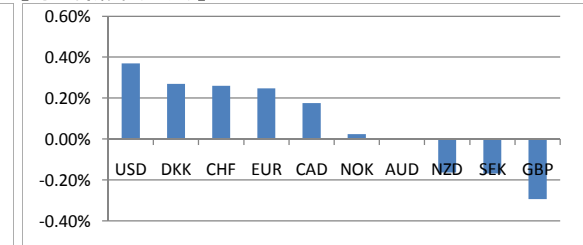
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月29日	18:00	欧	鉱工業信頼感指数	8月 -7.3 -7.4
	18:00	欧	サービス業信頼感指数	8月 10.6 10.6
	21:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	8月 -0.1%/1.5% 0.5%/1.7%
	21:30	米	GDP(年率/前期比)・二次速報	2Q 2.0% 2.1%
	21:30	米	個人消費・二次速報	2Q 4.3% 4.3%
	21:30	米	コアPCE(前期比)・二次速報	2Q 1.8% 1.8%
	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	7月 0.2% 0.0%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	- 214k 209k
	23:00	米	中古住宅販売契約(前月比)	7月 0.0% 2.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-106.50	1.1050-1.1150	116.70-117.90

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円はリスクセンチメントが改善する中、円売りが進行、106円台を回復。米中通商協議に関しは双方の認識に齟齬あることが市場にも伝わり昨日アジア時間のドル円は105円台半ばでの推移となったが、米国時間に入り株価が堅調推移となったことを背景に円売り優勢となり、106円台を回復してクローズしている。本日だが、依然として米中問題に関してはヘッドラインリスクが燦る中、積極的にポジションを傾ける動きは限られると想定され、ドル円は106円を中心としたレンジでの動きが予想される。

アジア	東京時間、105.75レベルで取引を開始したドル円は一時105.65円まで下落。ドル円の買いフローが意識される中、ドル円はじりじりと底堅い展開。しかし106円台を試す展開とはならず、105円台後半での推移となり、105.80レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.80レベルでオープン。米中通商問題において関税発動を9月1日に控え同問題への交渉動向に市場の注目が集まる中、ドル円は特段の目新しい材料が見当たらず狭いレンジでもみ合い105.72レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2275レベルでオープン。英議会議休会がエリザベス女王に要請される可能性が報じられたことを受けてポンドは1.2156まで急落。ジョンソン英首相は自身のEU離脱計画が議会で阻止されることを回避するため10月14日まで議事を休会することを模索と伝わり、合意なき離脱懸念が強まりポンドドルは上値重く推移し1.2210レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は方向感のない狭いレンジでの推移が続き、105.72レベルでNYオープン。NY朝方はジョンソン英首相が9/12～10/13までの議会休会を要請とのヘッドラインやイタリアの政局不透明感からポンド、ユーロが売られる中、ドル買いの流れとなったことでドル円はじり高で推移し、105.95まで上昇する。NY午後に入っても、特段のニュースは見当たらないものの、ドル買いが継続したことからドル円は106円ちょうどを上げ抜き、高値106.23まで伸伸びする。NY終盤に掛けてムニッヒ米財務長官が超長期債を真剣に検討していることを明らかにしたものの、ドル円の反応は限定的となり、106.13レベルでクローズした。一方、海外市場のユーロドルはイタリア政局不安や独リセッション入り懸念に加え、ハードブレグジットの見方も強まったことから、軟調に推移し1.1084レベルでNYオープン。NY朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1073まで下落する。イタリアで政権樹立の可能性が高まるも値動きは限定的となり、1.1080付近での推移が続き、1.1077レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:末木・田家